

あきる野市教育委員会 殿

あきる野市立草花小学校
校長 田中 淳志

令和4年度教育課程について（届）

このことについて、あきる野市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

生物は海から発生し、太陽のエネルギーを得て、大地に根を張り、幾多の豊かな次世代の生命を繰り返し育んできた。これを受け継ぐ私たちは、生命の尊重と生命の豊かな育みを常に心がけていきたい。こうした考えに立ち、本校は、人権尊重と社会貢献の精神を踏まえ、主体的に生きる力を培い、国際化・情報化社会に対応できる資質や能力の育成を目指し、次の目標を設定する。

○海のように大きな心（思いやりの気持ちを持ち、自分と友達を大切にする子）

◎太陽のように輝く自分（よく考え、進んで学ぶ子）〔重点〕

○大地のようにたくましく（心と体をきたえ、粘り強く取り組む子）

(2) 基本方針

ア 「海のように大きな心」を育むために

(ア) 教育活動全体を通じた人権教育及び道徳教育の充実を図り、自他の生命を大切にする心の教育を充実するとともに、互いを認め合い、思いやりの気持ちをもって実践する児童を育成する。

(イ) 人権教育プログラムを活用し、教員の人権感覚を向上させ、児童の人権意識と言語環境を整える。

(ウ) 挨拶や礼儀、基本的生活習慣、社会生活におけるルールを身に付け、他者との関わりを通して、規律ある集団の中での安定した生活を過ごすことができる児童を育成する。

(エ) 組織的に、いじめ、不登校、事故の未然防止及び解消に努め、安全・安心な学校づくりをする。

(オ) あきる野市特別支援教育推進計画に基づき、ふたば学級や特別支援教室と連携し、児童一人一人の教育的ニーズに沿って支援する特別支援教育を推進する。

イ 「太陽のように輝く自分」を育むために

(ア) 個別最適な学びや協働的な学びを充実させ、学習指導要領に示された基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、言語に関する活動を充実し、読解力を高め、思考力・判断力・表現力を育成する。

(イ) 体験的な活動や問題解決的な学習を充実させ、自ら学習や生活に生かす力を育成する。特に、理数教育においては、分かる喜びや学ぶ意義を実感できる指導を推進する。

(ウ) 各教科等との関連を図りながら、児童が持続可能な社会の創り手となることができる能力や態度を育成する。特に、地域と連携し、地域の自然や伝統・文化、福祉、防災、まちづくり、国際理解教育を計画的に推進し、多様なものの見方や考え方、国や郷土を愛する心情を育成する。

(エ) 学校図書館を充実し、調べ学習や読書のための環境を整備するとともに、読書相談や読書活動の取組を推進し、主体的に読書を楽しむ児童を育成する。

(オ) ICTを活用した授業を積極的に推進するとともに、児童に情報モラルを身に付けさせる。

ウ 「大地のようにたくましく」育つ児童を育むために

(ア) 計画的に体育及び健康に関する指導を実践し、体力づくりと心身の健康及び感染症対策に努めるとともに、主体的に健康を増進する児童を育成する。

(イ) 家庭や地域と連携し、心や体についての基礎的・基本的な知識の定着を目指す食育を推進する。

エ 信頼される学校づくりのために

(ア) 学校経営方針に基づく学校評価や学校評議員会の結果を活用し、教育活動の改善と充実を図る。また、学校公開やホームページを通して学校の情報を定期的に発信するとともに、説明責任を果たす。

(イ) 小中一貫教育及び幼保小連携を計画的に推進するとともに、E S D ・ S D G s の視点から特色ある教育活動「草花“るの育”」を推進し、将来の生き方や生活を考える基盤を形成する。

(ウ) 地域防災マップ作り等の大規模災害発生時の対応を行うとともに、あらゆる事態を想定した防災教育を徹底し、安全教育の充実を努める。